



# 市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 〇秘書課 ☎ 36-7117

今月のテーマ いまなぜ必要? 「島田市立地適正化計画」

今月は固いテーマだなあとと思われるでしょうが、将来の皆さんの暮らしに関連する大切な内容なので、ぜひ最後まで読んでください。

まずは、「立地適正化計画」が必要になった背景をお話したいと思います。わが国は、明治維新(1868年)以降、急速に人口が増加しました(明治維新の頃の人口約3,330万人)。しかし、2008年の1億2,800万人をピークに人口は減少に転じ、今後100年間で100年前の水準(約5,000万人)に戻ると予測されています。高齢化率も、2040年には全国平均で35%に達する見込みです(当市7月末現在の高齢化率31.6%)。

人口が増えた時代には、多くの都市で市街地が郊外へと広がっていきました。今後、拡大・拡散した市街地のままで人口が減少すると、空き家や空き地が多くなり、一定の人口規模によって支えられてきた医療・福祉・商業・子育て支援などの都市機能(生活に必要なサービスの提供)の維持が困難な状況になるおそれがあります。これを「都市のスポンジ化」と言います。都市のスポンジ化が進むと、病院やスーパーマーケット、バスなど私たちの生活を支えてきた便利なものが、住んでいる地域からなくなってしまいかもかもしれません。利用者が減少して民間の経営が成り立たなくなるからです。

では、どうすれば住みやすい地域を維持することができるのでしょうか。その対策の一つが「立地適正化計画」です。

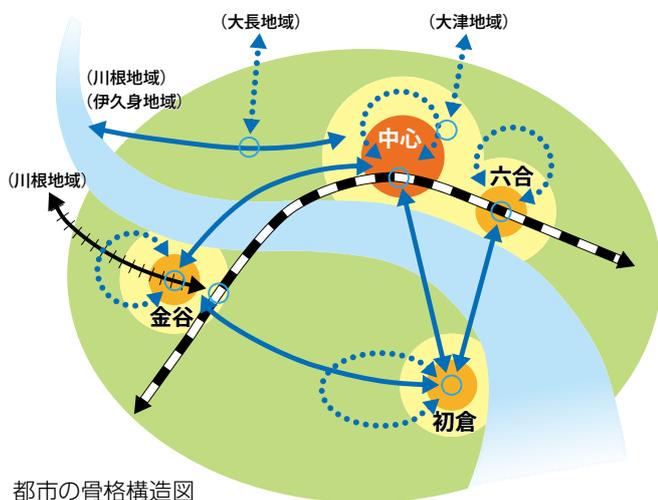
今後の人口減少・少子高齢化においても便利で安全で暮らしやすい地域を維持するためには、予測される人口規模に応じて、医療・福祉・商業・子育て支援施設などの生活サービス施設を一定エリアへ誘導し、その周辺へ居住を誘導することに加え、近年頻発・激甚化する自然災害を受けて、災害の危険性が低いエリアへ居住を誘導することが重要になります。今後は、そのための支援策を講じながら、時間をかけて居住を誘導し、高齢者をはじめとする誰もが徒歩や公共交通などにより、生活サービス施設などに容易にアクセスできる「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを目指していきます。それが「立地適正化計画」です。

具体的には、各地域に市民生活に必要なサービスを維持・誘導するエリア(都市機能誘導区域)を指定して、魅力的で居心地が良い中心拠点・地域拠点の形成を進めます。「誰もが多様な暮らしを楽しめるまちづくり」が、島田市立地適正化計画の基本方針です。

誤解を招かないようにお伝えしたいのですが、立地適正化計画は、すべての人口の集約を図るものではありません。例えば、農業などの従事者が農村部に居住するのは当たり前のこと。中心的な拠点だけではなく、旧町村の役場周辺などの生活拠点も含めた、多極ネットワーク型のコンパクト化を目指します。

今月は、本計画の対象地域となる旧市街・六合・初倉・金谷地域を対象に、市内4カ所で説明会を予定しており、今年度末までの計画策定を目指しています。川根地域には、別途「過疎地域持続的発展計画」を策定します。

繰り返しになりますが、今後の急激な人口減少と少子・高齢化社会を踏まえ、高齢者も子育て世代も全ての市民が健康で快適な生活を実現すること、また、財政面や経済面においても持続可能な都市経営を行うこと、さらには災害に強い安全安心なまちを形成することが、今後の島田市のまちづくりを考える上で重要となります。



「島田市立地適正化計画案(概要版)」は、市ホームページからご覧いただけます。

